



梨木城



かつては裾を森下川が蛇行し流れていた

所在地：石川県金沢市梨木町

立地：丘陵先端、標高24m

城主：奥（沖）氏

時期：戦国

見学時間（参考）：約20分

平野部に突き出た丘陵先端に位置し、かつて森下川が山裾の三方を巡っていた天然の要害である。森下川の流路変更により城跡の北側が分断されたため一部の遺構が破壊された。

先端の広大な平坦面が主郭で「タチ」と呼ばれ、城主の居住空間があったと推定される。



東に残る虎口から登城



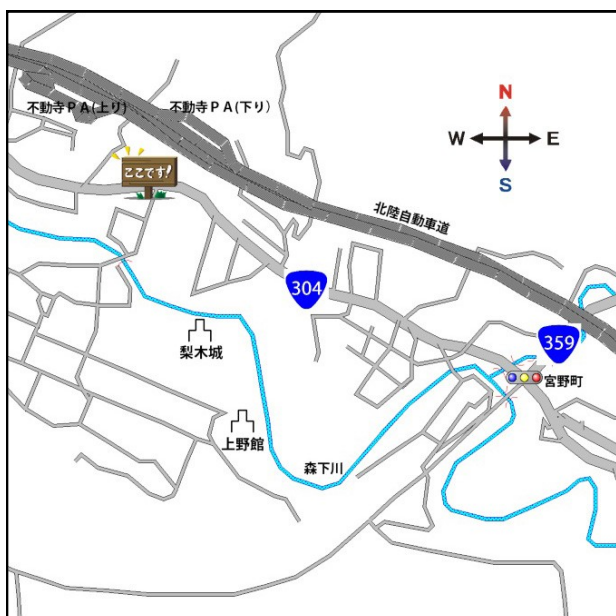
森下川流路変更により
分断された城跡

破壊された主郭北側は判明しないが、残る周囲に塁線土塁が巡らされ、東側の川沿いに櫓台の一部と虎口が残されている。城跡は藪に覆われ主郭に入るのは難しいが、かろうじて分かる虎口の道から櫓台に登ると主郭の広さを実感できる。

城主は沖近江守と伝えられる。近江守は一向一揆の河北郡旗本として天正4年（1576）5月と8月二通の連署書状に署名している「奥近江守政堯」と考えられている。天正7年9月の連署書状では奥彦四郎が署名しており、政堯は隠居したか世代交代したと推定されるが、天正8年（1580）織田方の柴田勝家軍に加賀が制圧された後は奥氏は歴史上に登場しなくなる。前述の連署書状



櫓台から主郭（タチ）を望む



の翻刻は「金沢市史 資料編2 中世2」に掲載される。



櫓台から上野館のある台地を望む

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>